

演習 旦那、もうかりませえ

問 下の文章の空欄を埋めなさい。

旦那はん、もうかってまっか？ え、コロナで、ゼーんぶ、ダメんなってもうた？ そりゃ、難儀なこってんな。このご時勢では、食い物屋みたいな商売でポチポチやってても、あきまへん。

これからは、投資や。¹⁾ 外国為替 相場。円、ドルを売買するんや。ええか？

今、旦那はんが、110 円もってはるとしますう。え、「バカにすな。100 円くらい、ある」？ そりゃ結構でんな。で、この 110 円でドル買うんや。

今現在の為替相場は 1\$=105 円やさかい、1\$買うても、5 円おつりがきまっせ。どないだ？

で、この 1\$を、寝かしとくわけやね。いつまで？ そりゃタイガースが優勝するまでや。「そんな待てるか。タイガーにせえ」？ 旦那はん、ヨ×モ×におったんかいな？ おもしろいやなあ。

ほたらして、寝かしとくと、いつか 1\$=110 円になる日が来ます。²⁾ 円安 ってわけやな。え、タイナカに聞いたから知っとる？ あかん！ その名前は関西では鬼門や。××グチ組系暴力団の名前やぞ。ほんま。

そしたら、ドルを売るんやね。³⁾ 5 円戻ってきます。おりつの 5 円と足したら、手持ちは 115 円。もともと 110 円の元手やから、⁴⁾ 5 円のもうけや。な～んもせんで、タイガースのゲーム観てたら、儲かるんやで。

「アホちゃうか。今どき、⁵⁾ 5 円儲かっても、小学生でも嬉しない」？

そこが、素人の浅ましさを。

105 円の投資で⁶⁾ 5 円儲かるんなら、105 億円投資すれば、⁷⁾ 5 億 円の儲けや。糸井ヨシオの年俸は、推定 4 億やで。ヨシオ超えや。たいしたもんやろ。

105 億なんてあるわけかない？ そりゃ、そうや。そこで他人からかき集めるんや。旦那はんの顔なら、右から左やろ？ で、手数料として 10 %もらうんや。それでも、⁸⁾ 5 千万 円の儲けやで。

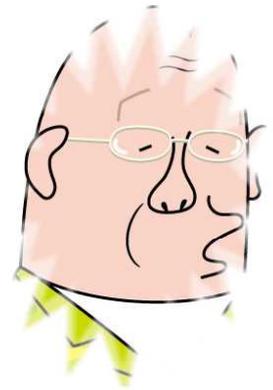
これが、⁹⁾ ヘッジ・ファンドの理屈や。大は小を兼ねるや。無い金は人から集めるんや。

ビンボー人から集めてもええんやで。アメリカでは、昔¹⁰⁾ サブプライム・ローンちゅーて、ビンボー人のための住宅ローン売って儲けたヤツがおるんや。まず、ビンボー人にローンを組ませて、1000 万の家を買わせませ。ローンが返せればよし。もし、返せなくても、家は必ず値段が上がります。その時は、2000 万に値上がりした家を買ってもらうて、ローンを返済して貰うわけやね。ビンボー人に貸す金は、金持ちから借りればええ。「旦那はん、80 % docomo の株買いまへんか。ただし、20% はちょっと危ないけど、抱き合わせで買うてくれたら、少し利息増やしまんがな。色つけまんがな」ちゅーてな？ ¹¹⁾ ハイリスク・ハイリターン」や。

「そのおかげで、アメリカでは¹²⁾ リーマン・ショックが起きて、世界中が不景気になってもた」？

旦那はん、よう知ってまんな？ 政経のセンセイかいな？

携帯で検索したら、出てくる？ そーか、じゃ、わいも携帯買わんと。はは、こりゃ、チ×テレビのアホのサ×タでんな、ほんま。おあとがよろしいようで……。



3 金融のグローバル化と世界金融危機

3 金融のグローバル化と世界金融危機

(1) 金融のグローバル化

1980年代～¹⁾金融活動の規制緩和

→²⁾金融のグローバル化 (³⁾地球規模での資本取引・金融機関の活動)

→⁴⁾短期的な利潤追求をめざす金融機関の投機

⁵⁾国際金融市場の成長・内外金融市場の一体化 →⁶⁾デリバティブ (金融派生商品) の急成長
～カジノ

(2) 90年代の通貨危機

⁷⁾ヘッジファンド：⁸⁾巨額な資金を集めて通貨や株式などに投資し、利益を出資者に分配する投資信託。

⁹⁾国際金融市場で大きな影響力をもつ

¹⁰⁾レバレッジをきかせた¹¹⁾ハイリスク・ハイリターン of 資金運用

¹²⁾タックス・ヘイブン (行政からの規制なし・低税率) に本拠地

↓

¹³⁾投機的な資金運用が国際的な通貨危機にもつながる

¹⁴⁾金融市場未整備の新興国に急激に資金流入 → ¹⁵⁾バブル発生

¹⁶⁾成長鈍化・通貨切り下げの予想 → ¹⁷⁾資金のいっせい引き上げ

→ ¹⁸⁾通貨価値の下落 例 ¹⁹⁾アジア通貨危機 (1997年)

(3) アメリカ発の世界金融危機

21世紀初頭 ²⁰⁾ITバブル崩壊 → 金融緩和, ²¹⁾住宅市場活況 → ²²⁾サブプライムローンの証券化

※サブプライムローン = 低所得者層など ²³⁾信用力 (返済能力) の低い人を対象とした住宅ローン
→ 「²⁴⁾住宅価格が上昇を続ける」という前提の上に成立していたローン

2006年 ²⁵⁾住宅バブル崩壊 → 証券化商品が不良資産化

2008年 ²⁶⁾リーマン・ショック (²⁷⁾投資銀行がつぎつぎに破綻) → ²⁸⁾欧州の銀行危機

→ ²⁹⁾国際的な信用不安, 世界経済の混乱

(4) 危機対応の金融緩和と金融規制の動き

① 世界経済のゆがみへの対処

2008年 ³⁰⁾G20による財政出動・量的緩和などの対応 → ³¹⁾大恐慌の再発を防止

② 世界金融危機の背景

・ ³²⁾中国などの外貨準備資金がアメリカ市場に流入 → 住宅バブル発生

→ 是正には、アメリカ経常収支赤字の削減・対米輸出依存国の内需拡大が必要

・ ³³⁾先進国の量的緩和による巨額のマネーが途上国に流入 → ³⁴⁾新たなバブル発生

③ 金融規制の強化

・ ³⁵⁾アメリカ：銀行のデリバティブ取引禁止, ヘッジファンドとの関係制限などの改革

・ ³⁶⁾国際的な資本取引への課税の構想もすすむ

4 地域経済統合

(1) 地域主義の台頭

1) 国際組織から多国間交渉へ

戦後経済体制：アメリカの主導で 2) GATT, WTO は多くの国が一斉に交渉を行うことが原則



3) 各国が独自に交渉しあって、貿易協定を結ぶ流れに

→ 4) 保護主義の台頭… 5) 例外規定の利用で報復措置, 対抗措置の発動

6) 地域主義の台頭

7) 近隣諸国間で自由貿易地域をつくらうとする動き

→ 8) 関税や輸出入の規制を撤廃するなど



(2) EU の形成

9) ヨーロッパ… 10) 狭い地域に多数の小国。

限られた資源や市場, 少ない労働力など 11) 大国に対抗する上で不利な条件。

→ 12) 統合して大国に経済・政治的に対抗する

1952 13) 欧州石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 発足 14) 独仏国境付近の資源を 6 か国で共同管理

1957 15) ローマ条約

16) 欧州経済共同体 (EEC) 発足

17) 欧州原子力共同体 (EURATOM) 発足

1967 18) 欧州共同体 (EC) 成立… 19) ECSC, EEC, EURATOM の統合

20) 関税同盟：加盟国は相互に関税撤廃・域外に共通関税

21) 政策協調：共通農業政策など

1992 22) マーストリヒト条約締結

1993 23) European Union 24) 欧州連合 (EU) 発足

1998 25) 欧州中央銀行 (ECB) 設立

1999 共通通貨 26) ユーロ 導入

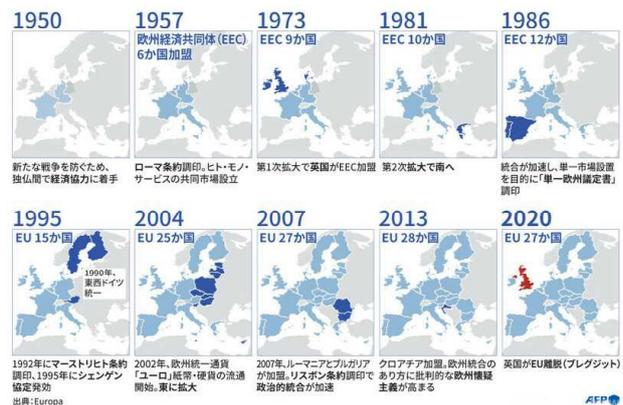
現在は 27) 1€ = 約 130 円

2002 ユーロ流通開始

2013 28) 加盟国 28 か国に拡大

2016 29) イギリス国民投票で EU 離脱決定

欧州連合 (EU) : 拡大からブレグジットまで



課題…

30) 財政制度のちがいがい, 加盟国数増加

31) 域内格差拡大 (例 ドイツとギリシャ),

32) 労働力移動,

33) 移民との共生

(3) FTA と EPA

¹⁾WTO の多国間貿易ルールづくり難航

→ ²⁾二国間・地域内で貿易・投資の自由化先行



³⁾1990 年代以降 FTA (自由貿易協定), EPA (経済連携協定) が急速に進行

⁴⁾Free Trade Agreement, ⁵⁾自由貿易協定 (FTA) :

⁶⁾関税 撤廃などによる自由貿易

⁷⁾Economic Partnership Agreement⁸⁾ 経済連携協定 (EPA) :

⁹⁾自由貿易+労働力や資金, 情報の行き来などの分野にまで広げた協定

ヨーロッパ	¹⁰⁾ EU (欧州連合)	¹¹⁾ 1993
北米	¹²⁾ NAFTA (北米自由貿易協定)	¹³⁾ 1994
南米	¹⁴⁾ メルコスール (南米南部共同市場)	¹⁵⁾ 1995
東南アジア	¹⁶⁾ ASEAN (東南アジア諸国連合)	¹⁷⁾ 1967
環太平洋地域	¹⁸⁾ APEC (アジア太平洋経済協力会議) ²⁰⁾ TPP (環太平洋経済連携協定)	¹⁹⁾ 1989 ²¹⁾ 2006

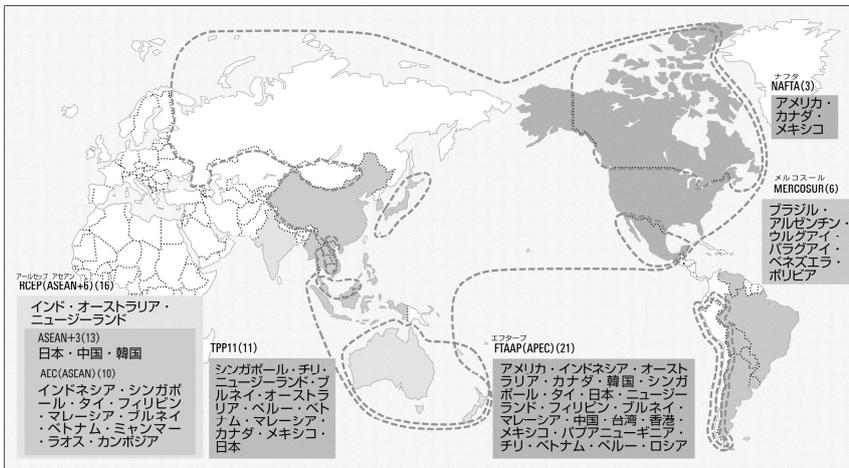


表 世界のFTA年代別・地域別発効件数 (05年7月8日現在)

	欧州・アジア・中東・アフリカ	米州	アジア大洋州	地域横断	合計件数
55~59年	1				1
60~64年	1	1			2
65~69年				1	1
70~74年	1	1		2	4
75~79年	2		2		4
80~84年	1	1	2		4
85~89年		1		2	3
90~94年	17	2	3		22
95~99年	25	2	1	1	29
00~04年	43	5	7	9	64
05年~	1		1	2	4
合計	92	13	16	17	138

→ ジェトロ貿易投資白書 (2005年版) による。

→ FTA も EPA も、²²⁾WTO の「無差別」貿易の原則の例外

→ ²³⁾市場閉鎖が強まるとかつてのブロック経済化への危険性をともなう

(4) 日本の FTA/EPA

①日本の貿易の原則… ²⁴⁾GATT や WTO の多角主義

→ ²⁵⁾1990 年代末 国際情勢にあわせて路線転換, FTA/EPA 締結へ

②交渉中のもの… ²⁶⁾TPP, ²⁷⁾RCEP, ²⁸⁾EU との FTA など

²⁹⁾メガ FTA のメリット: 多国間でのルール統一により, 企業活動スムーズ・経済成長促進

③課題… ³⁰⁾安い農産物が大量輸入 → ³¹⁾国内農業に打撃, ³²⁾外国人労働者の受け入れ体制整備

5 新興国の台頭

(1) BRICS の台頭

2000 年代 めざましい経済成長 = ¹⁾エマージング・マーケット (新興市場), 新興国
²⁾BRICS (ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ) … 21 世紀の経済大国か?

① ³⁾ブラジルの動向

- ・ 21 世紀初め ⁴⁾資源と食料の輸出が好調 + 政府の経済政策 → 好況
- ・ 課題… ⁵⁾生活インフラ整備, 福祉・環境政策の拡充

② ⁶⁾ロシアの動向

- ・ 基本戦略: ⁷⁾石油・天然ガスなどの資源輸出 (⁸⁾2012 年 WTO 加盟)
- ・ 課題… ⁹⁾資源価格の動向に左右される, ウクライナ問題による経済制裁

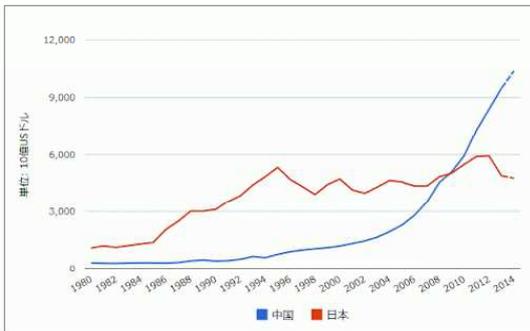
③ 南アフリカの動向

- ・ ¹⁰⁾金とダイヤモンドの輸出が成長をけん引
- ・ 課題: ¹¹⁾貧困・低所得状態, 高い失業率, インフラ整備の遅れ

(2) 中国の動向

1978 年 ¹²⁾改革・開放政策: ¹³⁾沿海部に経済特別区, 外資・技術導入 → ¹⁴⁾高い経済成長率

1993 年 改正憲法: ¹⁵⁾社会主義市場経済をめざす



2001 年 ¹⁶⁾WTO 加盟

→ ¹⁷⁾「世界の工場」:

- ¹⁸⁾粗鋼・パソコン・自動車の生産世界一
- ¹⁹⁾貿易黒字蓄積, ²⁰⁾世界一の外貨準備高
- ²¹⁾GDP 世界第 2 位
- ²²⁾「世界の市場」の期待も

課題

- ・ ²³⁾都市と地方の所得格差,
- ・ 大気汚染など ²⁴⁾環境問題,
- ・ ²⁵⁾労働力人口の減少など
- ・ 人民元の切り上げ要求

(→ 2005 年 管理フロート制に移行)

- ・ ²⁶⁾中国のバブル: 2014 年 ~ ²⁷⁾株価・地価急騰 → 2015 年

²⁸⁾株価暴落 → ²⁹⁾世界同時株安

³⁰⁾香港…一国二制度 ³¹⁾台湾…中台経済協定 → 関係深化



(3) インドの動向

従来 ³²⁾国有企業による重工業優先

1991年～ ³³⁾自由化・開放化, IT産業育成

→ ³⁴⁾インドの「シリコン・バレー」として発展

³⁵⁾帰国した技術者によるソフトウェア開発・事務などオフショアリング発展

³⁶⁾鉄鋼・自動車など製造業も発展 →

2030年代人口世界一?

課題… ³⁷⁾貧困, 教育, 都市への人口集中と大気汚染・環境悪化, 民族問題, ³⁸⁾電力不足



(4) アジア・太平洋地域の動向

シンガポール… ³⁹⁾すぐれたITインフラ→ ⁴⁰⁾地域のビジネス・センターに

ベトナム… ⁴¹⁾ドイモイ→ ⁴²⁾海外から企業進出→ ⁴³⁾製造業発展

タイ, マレーシア, インドネシア… ⁴⁴⁾日系など外国企業進出, 工業化, 国内市場拡大

⁴⁵⁾「チャイナ+1」… ⁴⁶⁾カンボジア・ミャンマー・ベトナムに注目

(5) アフリカの動向

概観: ⁴⁷⁾資源開発などによる経済成長の一方で, 拡大する貧富の格差。

危機から成長へ: 独立後, ⁴⁸⁾内戦や飢餓, 貧困や環境破壊など多くの苦難

→ ⁴⁹⁾2000年以降, 高い経済成長率

背景: (ア) ⁵⁰⁾豊富な地下資源: 石油やダイヤモンド, 各種 ⁵¹⁾レアメタル (希少金属)

(イ) ⁵²⁾10億人のマーケット: ⁵³⁾新興市場としての期待を高め, 外国からの投資を引きよせ
産業: ⁵⁴⁾ICTと金融で, ⁵⁵⁾携帯電話がビジネスの重要なツール

国際経済: ⁵⁶⁾旧宗主国であるヨーロッパ諸国から中国などのアジア諸国へシフト

今後の課題:

- ・ ⁵⁷⁾貧富の格差
- ・ ⁵⁸⁾政治 (ガバナンス統治) の不安定
- ・ ⁵⁹⁾医療や保健, 教育の改善 ← 貿易や投資で解消しにくい

～ 1993 ⁶⁰⁾TICAD (アフリカ開発会議):

⁶¹⁾日本の主導。人づくり, 環境保全, 民主化などに配慮した援助。

(6) 新興国と世界経済

各国が問題をかかえながらも, 世界経済で大きな存在感を示す

⁶²⁾「一帯一路」構想… 中国が提唱する, 新たな経済圏構想

⁶³⁾アジアインフラ投資銀行 (AIIB) … 中国・ASEAN・欧州諸国などが途上国に資金供給

6 地域経済協力と人間開発の課題

(1) 貧困の克服と国際協力

¹⁾絶対的貧困層：²⁾約 8 億人（世界人口 79 億の 10 %）

発展途上国の問題

³⁾モノカルチャー経済、⁴⁾人口爆発、⁵⁾食料危機と飢餓、⁶⁾累積債務など
先進国の対応

⁷⁾民間企業の直接投資・

⁸⁾ODA Official Development Assistance（政府開発援助）

開発援助委員会（DAC）が調整

⁹⁾国連ミレニアム開発目標（MDGs）…貧困撲滅への目標

貧困撲滅は進展したが、課題も残る

→ ¹⁰⁾Sustainable Development Goals（¹¹⁾SDGs：持続可能な開発目標）に発展

¹²⁾Human Development Index（¹³⁾HDI：人間開発指数、¹⁴⁾アマルティア・セン等が開発）

¹⁵⁾UNDP（国連開発計画）が策定した指標＝¹⁶⁾平均余命、教育、GDP

(2) 日本の ODA と課題

1991～2000 年 ¹⁷⁾援助額世界第 1 位 年間 1 兆円以上

日本の ODA の傾向

¹⁸⁾アジア諸国中心、¹⁹⁾インフラ整備に重点、²⁰⁾日本企業が工事受注

1992 年の ODA 大綱→ 2003 年の新 ODA 大綱…²¹⁾生活関連分野への援助も重視

環境アセスメントも強化、²²⁾「顔の見える援助」(²³⁾青年海外協力隊)も充実、

JICA 専門家（民間企業の熟練技術者）も評価

2015 年 ²⁴⁾開発協力大綱…国益の確保に貢献することを明記、軍への援助も可とする

(3) 貧困削減への新しい動き

²⁵⁾NGO（non-governmental organizations、²⁶⁾非政府組織）の役割拡大

²⁷⁾フェアトレード：途上国生産者と先進国消費者が対等な立場で行う貿易。

²⁸⁾ソーシャル・ビジネス：公共性の高い企業活動

²⁹⁾マイクロクレジット（**グラミン銀行**）：貧困層に無担保で小額の融資を行う金融サービス

◆貧困層に対して

³⁰⁾BOP 市場、企業の社会的責任（³¹⁾CSR）…安価な日用品の普及→生活改善

◆移民送金

³²⁾先進国への移住者からの母国への送金：³³⁾世界の ODA 額の 3 倍

(4) SDGs17 の目標

SDGs : 2015 年 9 月の¹⁾国連サミットで採択。

国連加盟 193 か国が 2016 年から²⁾2030 年の 15 年間で達成する目標。



英語 3) _____
 解説 4) _____

 日本語 5) _____



英語 6) _____
 解説 7) _____

 日本語 8) _____



英語 9) _____
 解説 10) _____

 日本語 11) _____



英語 12) _____
 解説 13) _____

 日本語 14) _____



英語 15) _____
 解説 16) _____

 日本語 17) _____



英語
解説

18) _____
19) _____

日本語

20) _____

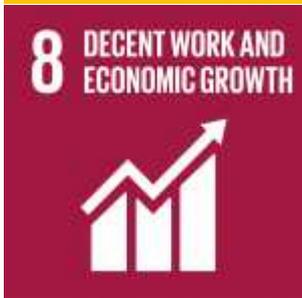


英語
解説

21) _____
22) _____

日本語

23) _____



英語
解説

24) _____
25) _____

日本語

26) _____



英語
解説

27) _____
28) _____

日本語

29) _____



英語
解説

30) _____
31) _____

日本語

32) _____



英語
解説

33) _____
34) _____

日本語

35) _____



英語
解説

36) _____
37) _____

日本語

38) _____



英語
解説

39) _____
40) _____

日本語

41) _____



英語
解説

42) _____
43) _____

日本語

44) _____



英語
解説

45) _____
46) _____

日本語

47) _____



英語
解説

48) _____
49) _____

日本語

50) _____



英語
解説

51) _____
52) _____

日本語

53) _____